



熊本地震支援ニュース

2016年8月1日 NO.5

発行：聴覚障害者災害救援対策本部 本部長 石野 富志三郎
事務局：一般財団法人全日本ろうあ連盟内
〒162-0801 新宿区山吹町130 SKビル8F
TEL：03-3268-8847 FAX：03-3267-3445 Email：saigai@jfd.or.jp

◆聴覚障害者災害救援対策本部◆

2016年4月14日21時26分頃に発生した熊本県熊本地方での地震を受け、聴覚障害者災害救援中央本部は、同日「聴覚障害者災害救援対策本部」を全日本ろうあ連盟本部事務所（東京）に設置しました。

©2010 熊本県くまモン#熊本支援

【熊本地震聴覚障害支援対策本部からの報告】

2016年4月14・16両日発生した熊本地震から3カ月を過ぎました。この間、聴覚障害者災害救援中央本部はじめ様々な方面の方から善意のご協力を賜りながら、今は、1900回を超えていた余震は数も減り、復興復旧へと取り組みを始めてきたところです。

連盟の協力で派遣された相談支援者の活動を通して、ろう者等聴覚障害者のニーズ等の把握に取り組んでいます。

一つの例として、青年部が屋内片付けなどのボランティア活動、瓦が破損した屋根に被せて雨漏りを防ぐブルーシートの需要があります。ブルーシートは大きいもの小さいものと様々ですが、ある程度の大きさのものが品不足もあり、物資供給本部になっている福岡協会に協力をお願いして20枚確保し、必要な方に差し上げています。

仮住宅が被災地域にできて避難所から移り住みつつありますが、ろう者、聴覚障害者としては、住む場所も人間関係もまた未知の場所と言えます。こうしたことから新たな不安が生じることになり、ストレス等を和らげる方途を考えなければならないと思っています。幸い、SW協会や医療班の方が来熊される見通しが立ち、期待しているところです。

地元としては、みんなを奮い立たせ互助精神の高揚を図ることも含めたイベントを、9月18・19日に関く計画しているところです。

熊本地震聴覚障害者支援対策本部
副本部長兼事務総括
松永 朗



＜青年部片付けボランティア＞



＜相談支援の状況＞

【ろうあ者相談支援からの報告】

震災の被害もあるが、それ以上に震災以前から抱えていた問題が浮上してくるケースが結構あり、震災の問題よりろう者の福祉制度というか、普通に当たり前の人間として（普通に熊本県人として）生きていけるような取組が重要だと実感しました。

聞こえない故起こる情報の格差、狭いろう社会に閉じこもった故起こるろう者同士の問題など、日常的な取組として、気軽に相談でき迅速に対応できる体制作りには貢献したいと思っています。

ろうあ者相談員 中村 慎策



＜病院の受付で＞

【支援金振込口座】 ★みずほ銀行内(本・支店間)の振込は手数料免除となります
みずほ銀行 江戸川橋支店 普通預金 口座番号：1511276
名義：(一財)全日本ろうあ連盟 災害救援中央本部代表 石野富志三郎

＜目標金額＞

20,000,000 円

＜支援金状況＞

8,073,711 円 / 236 件

★7月21日現在



©2010 熊本県くまモン#熊本支援